



檻
の
中

in the cage

R18

その檻の中にいることは、
いささかきゅうくつではあったが、
僕にとってはそれと同時に
必要なことでもあったのだ。

どこに行くこともできないが、
けれど危険にさらされることもない。



たとえば生まれる前に過ぎた、
母親の胎内のように。



—何の用だ
天道
こんなところに
呼び出して



その

あー

桜庭



好きだ

—下らない

え

わざわざ
そんなことを
言うために
連れ出したのか？

待てよ

そんな
ことって…

桜庭…っ

戻るぞ



桜庭





しかし
結局は

同じような
ものだ



かれが僕に
望む道を

選ぶつもりは
微塵もない

08



だからこそ



かれは早く
僕を



あきらめて
くれさえ
すればいい

あの場所
から

僕は
今も

——そう

選べる
はずがない

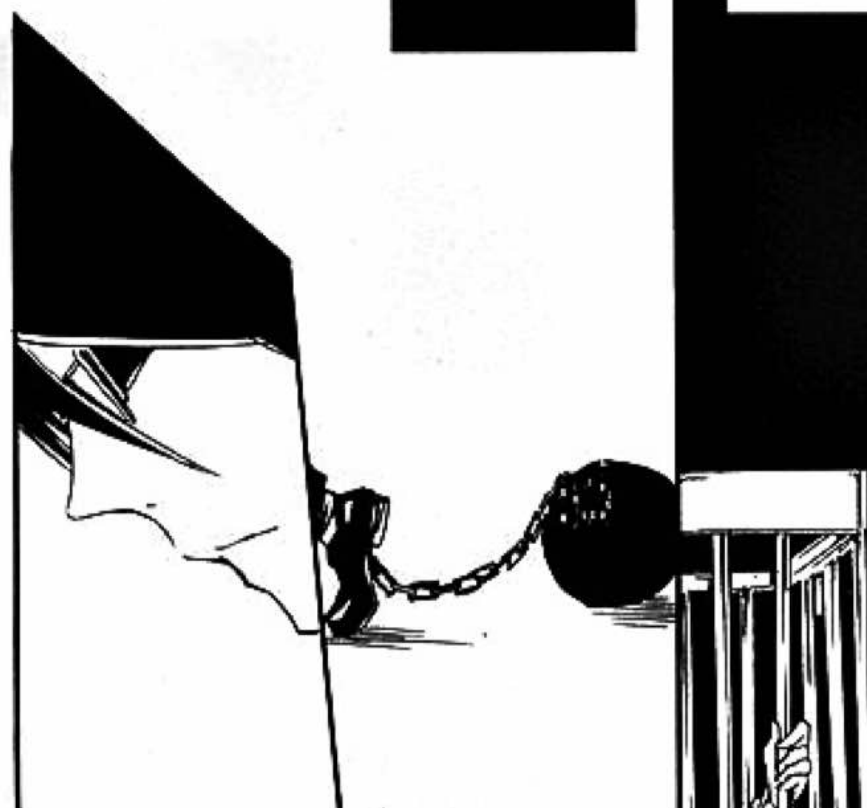
一歩も動いて
いないの
だから

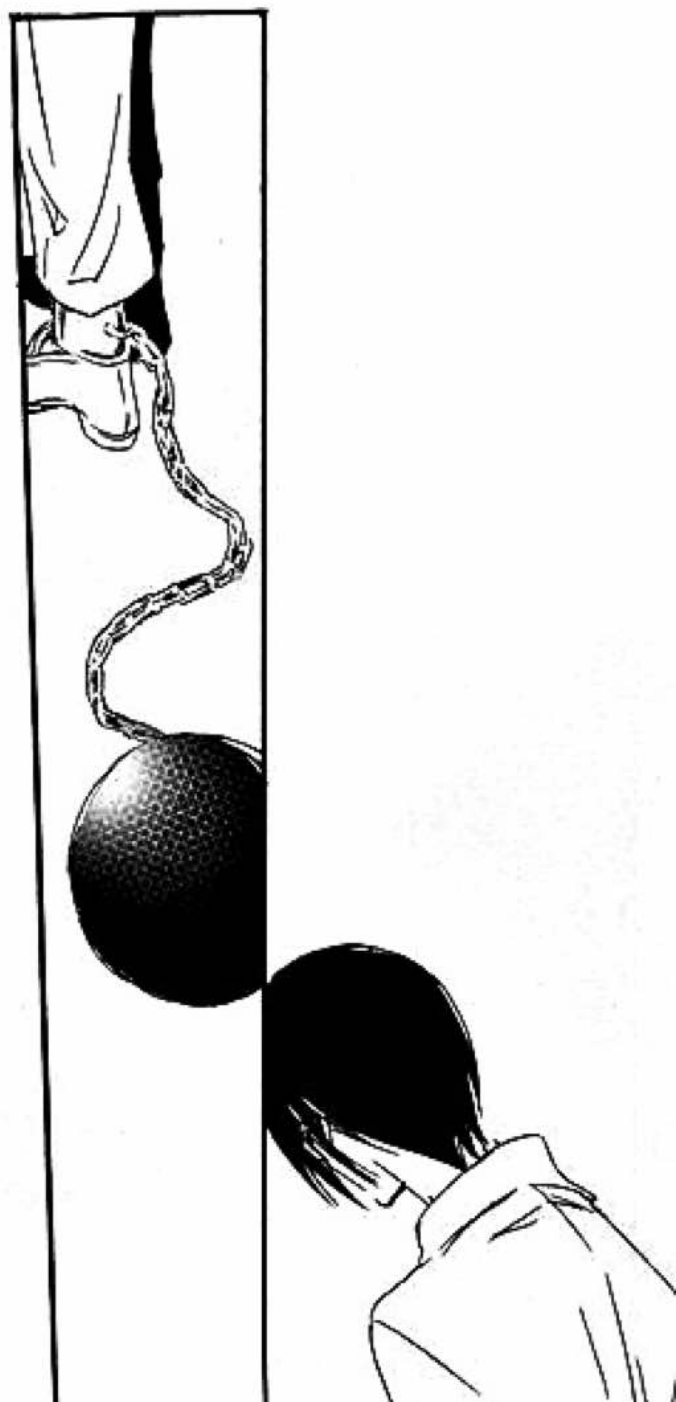


頑丈な
檻の中から

かたく
閉じた

あの

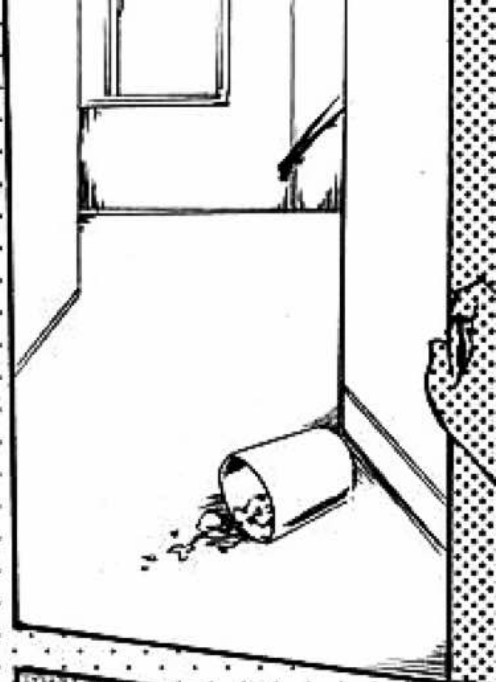












—何なん
だよ

あいつ



あの言い方は
ねーだろ！

…ああ

でも







他の
人には

わからない
ものでしょうか？



…でも

意外
ですね

え

だって





薫さんにとつて
輝さんは

特別な
存在みたいに
見えたから

——わりいな

翼

いえ

じゃ
気をつけて
下さいね





俺から見りゃ
お前の方が
よっぽど
仲良さそうに
見えるぞ

—何で

そう
なるんだよ



おほえて
ます？

前に

ミュージカルの
打ち上げで



黒さんが
プライベートで

初めて
オレたちの前で

笑ってくれた
時のこと

—お前

今

笑った
よな？

「笑ってなど
いない」

あれって

20

輝さんが
きつかけ
でしたよね

え

輝さんが本番で
おかしな
ポーズとって

薫さんと
その話
してた時



なにおう！



「どこかのバカが
謎のポーズを
決めた時は
どうなることかと
思ったがな」



いつもと違う
表情を見せるのは



藤さんが
そうやって
笑ったり
怒ったり



21



…そうじゃ
なくても



輝さんの前
だけでしょう？

…バカ
だよな

あんな言葉
真に受けて



—でも

もし
本当に



そう思われて
いるので
あれば

「ほっとけない
性分
なんだよー」

…尚更

ほっとけるわけ
ねーだろうが

23

守りたい
領域なんて

他の
人には

わからない
ものでしょう？

誰かれ
かまわず

突き放している
つもりはない

君以外の
人間にはな



それなら

あいつは
何を

守りたいん
だろうか――

お疲れ
さまでした――

ありがとうございます
ごさいました





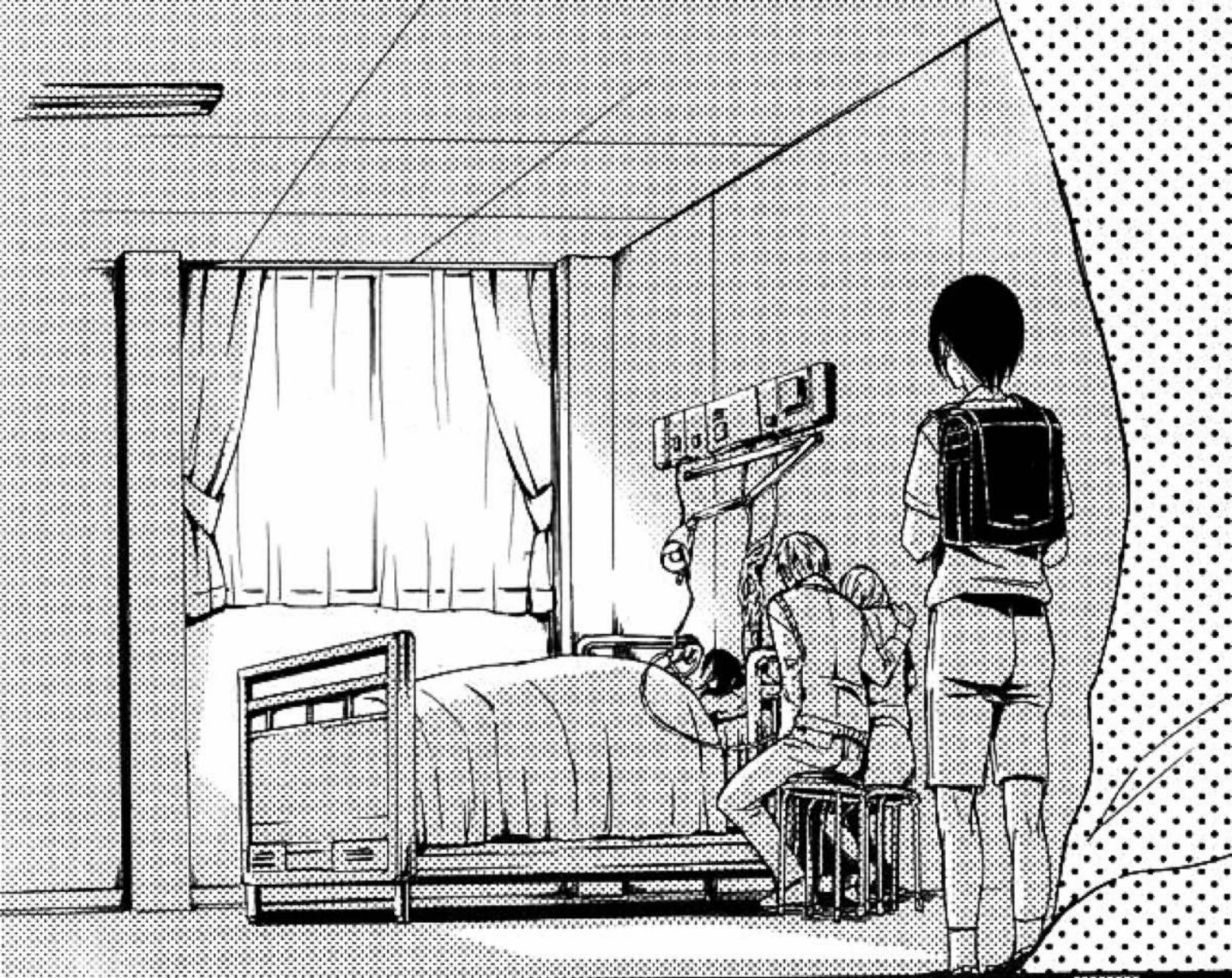
「好きだ」















あんな痛みを
味わうことは――

二度と

桜庭？









ついてて
やりてえつて
思ったんだ

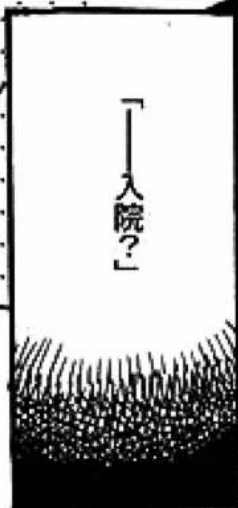
そばに



治療に専念
してもいいか——

「状態が
良く
ありません」

「しばらくは
この病院で」



「入院？」

ずっと
一緒よ

いい子ね
薫



いいのよ

姉さんの…

でも
これは



「薫
これ
あげる」

37



そばに
いて
何が
できる

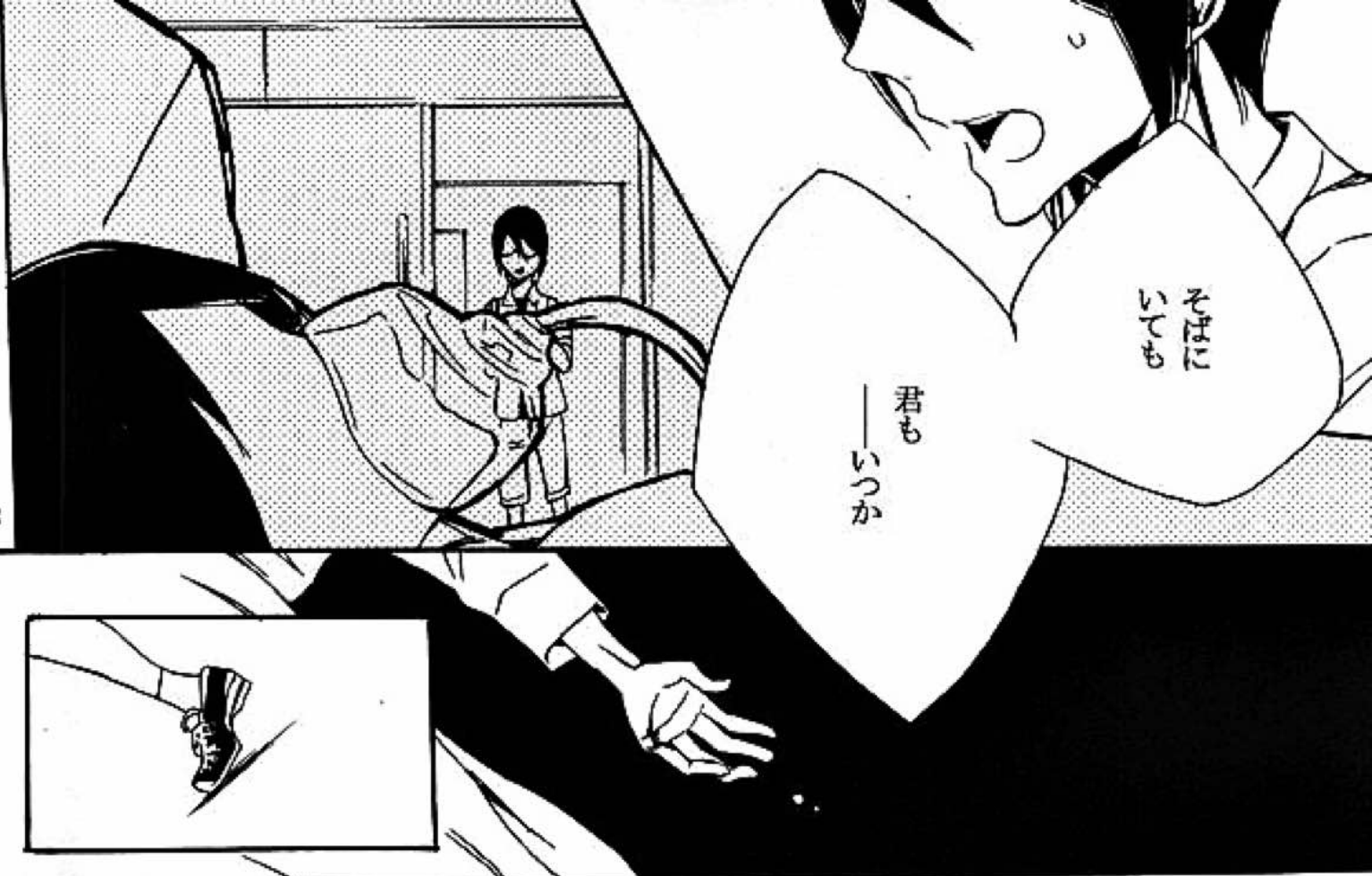


ずっと一緒に
いられますようにっ

そうすれば
これから



姉さんだと
思っ
て
大切に
してちょうだい





怖かったん
だな

もし俺が
いなくなつて

出会った時の
お前
みたいに
また
一人に
なるのが

告別式

「君以外の
人間にはな」





一人に
なろうと
すんのは

お前の
方だろ



—お前が

一人に
なろうと
しなきゃ

ズル





—どうして
くれるんだ





—君の
せいだぞ



もう
二度と



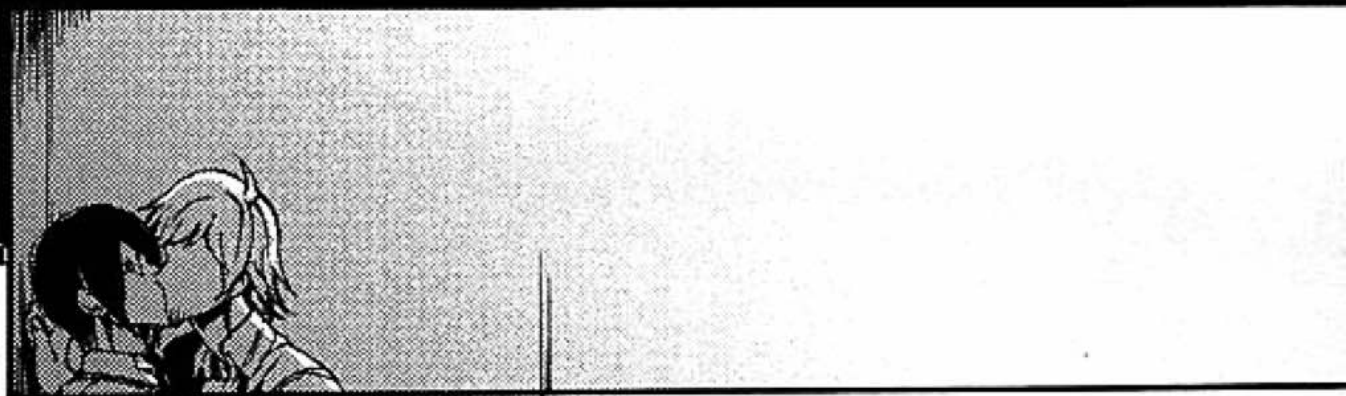
特別な
人間など

作りたく
なかったのに——







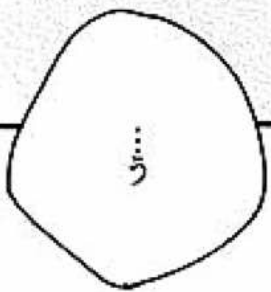
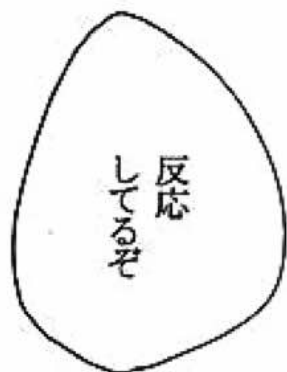






知らなかった 感覚







お
る。

...

...桜庭

いいか?

...あ

ああ

...じゃ

入れるぞ

...っ!



55





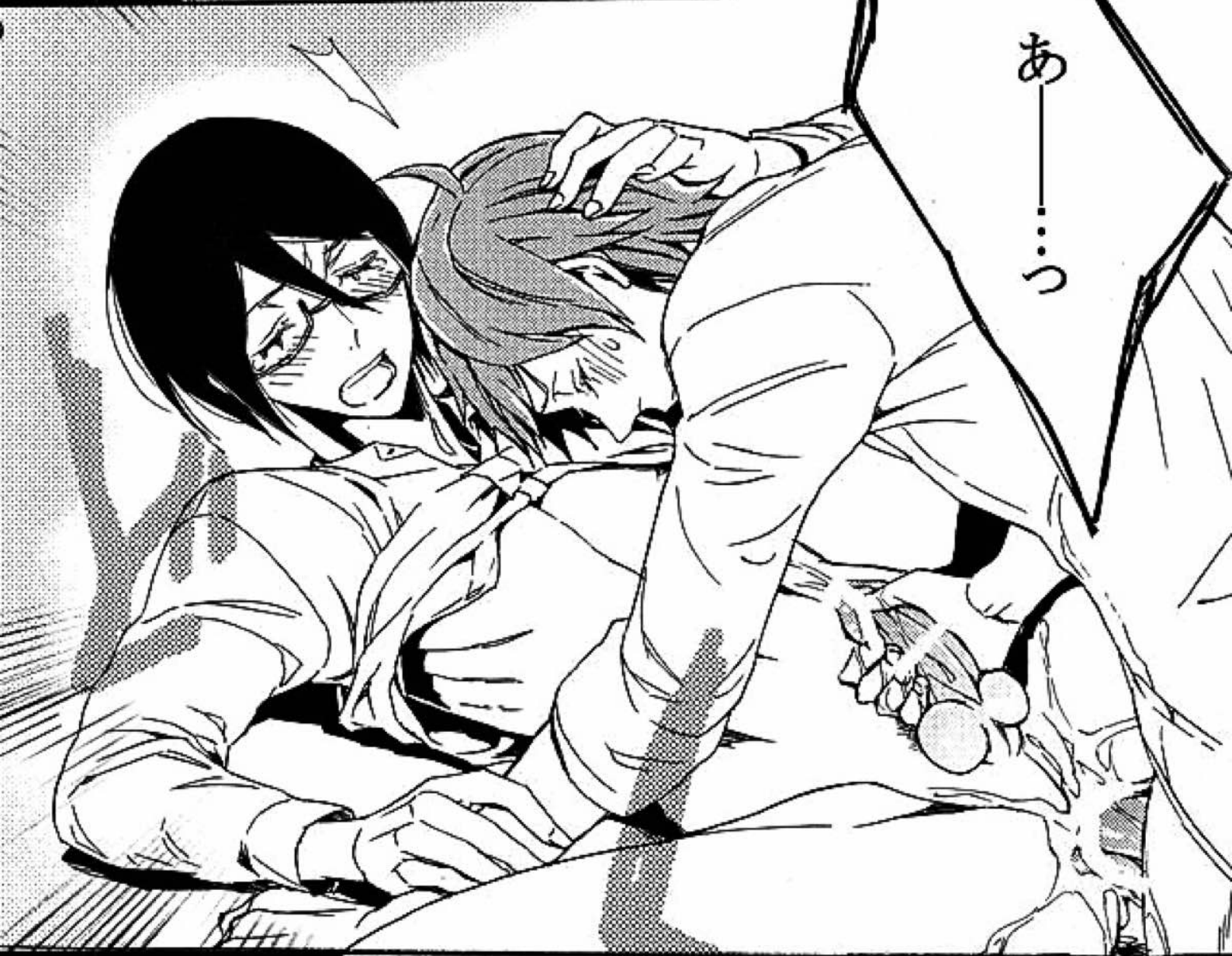
56















結局

朝に
なっちまったな

もう
歩けるか？

本当
なら

信じて
やらなくも
ない

正直
立ち上がるのも
辛い

いつまでも
いるわけにも
いくまい

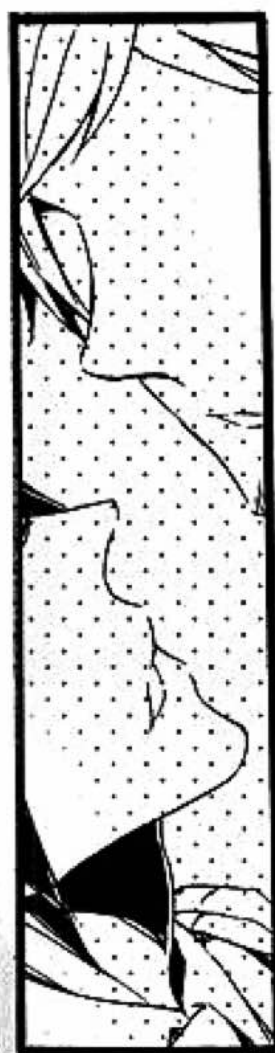
おい

でも
そりゃ

元はといえば
お前が
あんなとこで…

僕の
せいかな？





64









心配
すんな



…あんな状態で
言ったことを

真に受ける
方が

—そもそも



あんな状態で
でまかせが
言えるほど

器用じゃ
ねーだろ
お前は！

…だから

お前も



俺のそばからは
なれんなよ



…ヒゲ面の
中年が

何を
キザな
ことを

中年って
やめろ！

—今まで

ずっと

一人でいいと
思っていた

けれど

本当は

ただ

守りたかった
だけなのかも
しれない

誰かと
関わる
痛みから

他でもない
自分を

だから

自分で自分を
とじこめて
いたのだ

だれも
失いたくないと

だれとも
かわりたく
ないと

だれも
ふみこませ
ないように

だれも
知らなくて
すむように

二人に
なろうと
すんのは

お前の
方だろ

けれど



行くぞ

桜庭



本当は

…手を
つなぐのか？

だって

はなとねえって
言っただろ





だから

どこにも
行けねえ
ようにな



…言つてて
はずかしく
ないのか

先に
言つたのは
お前だろ！

— 多分



それだけで
せいっぱいだった

失うことを
おそれるあまり

誰も
よせつけないように
していた



そこから
つれだして
くれたのだ



かれが
僕を



孤独という

その
檻の中から





解放されたと
思っていた



僕は
あの時

けれど





…おかしいな



一人にするなど
言ったのは



たしかに
僕の方では
あるが



…





片時も

一人で
いられなくなるなどと



79

……一人に
するなど

言った
だろう……!



——解放されたと
思っていた

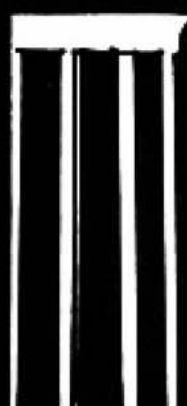
けれど

本当は



僕はまた

とらわれて
しまったのかも
しれない



かれという
檻の中に



檻 の 中

in the cage







だからこそ

断りたく
なかったん
ですか？

85



… 薫
さんは

心の
どこかで

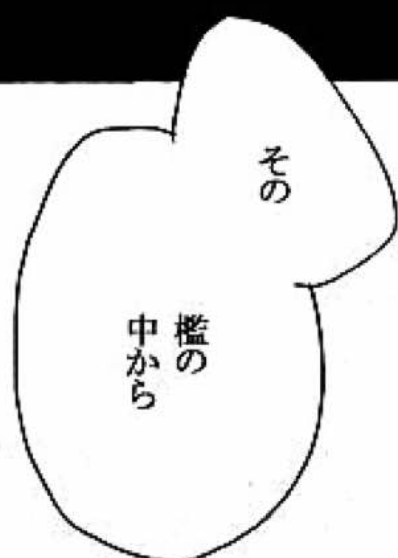






—輝さんを

薫さんって
いう



その

檻の
中から

檻 の 中

in the cage

剃 刀
ラ ブ レ ター

TeruTendo*
KaoruSakuraba